

2026 年 8 月 5 日

【ニュルブルクリンク耐久シリーズ 第7戦 / ニュルブルクリンク(ドイツ)】
6 時間の戦いで BMW M Motorsport が総合 2 位表彰台！



全 10 戦のカレンダーで競われている 2026 年のニュルブルクリンク耐久シリーズ(NLS)は、およそ 1 ヶ月半のインターバルをはさんで 8 月 1 日(土)に第 7 戦が開催された。他大会が 4 時間の決勝で競われる中、本大会はシーズンで唯一となる 6 時間レースの長丁場となるが、最高峰の SP9 クラスに参戦する BMW M Motorsport(参戦チーム：Schubert Motorsport)の BMW M4 GT3 EVO（#77）が総合 2 位表彰台を獲得、公式予選で 2 番手タイムを記録した Haupt Racing Team のフォード・マスタング GT3（#64）も総合 9 位フィニッシュを果たし、ヨコハマタイヤ勢が揃って好成績をおさめた。

3 月中旬の開幕戦から、24 時間レースの Qualifiers(予選レース)を含めて 6 戦をこまめで消化してきた 2026 年シーズン。シリーズランキング(NLS Speed-Trophäe)は ADVAN カラーをまとって戦う 77 号車の BMW M Motorsport が 93 点でトップに立ち、2 番手に 43 点という大きな差をつけている。

そんな 77 号車は今回、24 時間レースでは BMW M3 Touring 24H もドライブしたイェンス・クリングマン選手とウーゴ・デ・ワイルド選手に、21 歳の BMW M ワークスドライバーであるティム・トラムニッツ選手を加えた 3 人体制で臨む。一方で 64 号車のマスタングは、ヴァインセント・コルブ選手とフランク・スティップラー選手のコンビでチェッカーを目指す。

ニュルブルクリンクは“Green Hell（緑の地獄）”とも呼ばれているが、深緑も鮮やかなアイフェルの杜は好天に恵まれて 8 時 30 分から 90 分間で行われた公式予選はオールドライコンディション。眩しい太陽がコースを照らす中、開始から 15 分すぎに 7 分 57 秒 273 をマークしてタイミングモニターの最上段に名を連ねたのは 64 号車のマスタング。しばらくはこれがトップタイムだったがセッション中盤に入ると順位が動き、40 分をすぎて 64 号車は 3 番手にドロップ。

しかしセッション終盤、残り 15 分を切ったところでスティップラー選手が 7 分 54 秒 386 ヘタイムアップして 2 番手に浮上。その翌周以降も 7 分 53 秒 306、さらに 7 分 52 秒 020 とタイムアップしてトップを奪い返した。その後、惜しくもライバルに僅か 0.514 秒かわされたが、64 号車は 2 番手でフロントローの決勝スターティンググリッドを獲得。また、77 号車の BMW M4 はクリングマン選手がセッション終了直前に 7 分 54 秒 875 をマーク、こちらは 8 番手のグリッドから決勝スタートを迎えることとなった。



予選終了後、ピットウォークやグリッドウォークの賑わいをはさんで、6 時間の決勝は 1 2 時ちょうどにスタート。フォーメーションラップからのローリングスタートで魅せたのが、77 号車のトラムニッツ選手だった。4 列目左のグリッドから 1 コーナーヘアアウト側のラインでアプローチ、ギリギリまでブレーキを遅らせて先行者の前へ出るとラインを大きく外すことなく十分な立ち上がり加速で次々とコーナーをクリア。グランプリコースのうちに 3 つポジションをあげて、5 番手でノルドシュライフェ(北コース)へとマシンを進めて行った。

2 番手スタートの 64 号車はポジションをキープ、ステアリングを握るスティップラー選手が安定感の高い走りで行くライバルの真後ろにつけ、0.072 秒差でオープニングラップを終了した。

このまま 64 号車は 2 番手をキープして周回、6 周を終えてライバルがピットインしたことからトップに浮上。しかし間もなくして 64 号車にトラブルが生じてグランプリコースの終盤でスローダウン。位置的にピットへ戻るには約 25km のコースを一周しなければならず、大きなタイムロスをもたらす流れとなってしまった。



一方、77 号車はトラムニッツ選手の快走が続いており、ポルシェを 1 台かわして 4 番手にポジションを上げて自らのステントを終了。この後を受けたクリングマン選手は、後ろから追ってくるポルシェ勢を寄せつけない走り、ポジションをひとつあげた 3 番手で周回を重ねた。

スタートから 3 時間を経過、レースが折り返してまもなく 77 号車がピットイン。引き続きステアリングを握るクリングマン選手は、同じタイミングでピットインした 2 番手だった BMW より早くコースへ復帰、約 5 秒前を行くトップに食らいついていく。

このまま追走を続けた 77 号車は惜しくもトップ奪取にあと一步及ばなかったものの、チェッカーを受けて総合 2 位を獲得。64 号車はトラブルシューティングを経て戦列に戻り、総合 9 位でフィニッシュした。

この結果、77 号車はシリーズランキングのポイントを 121 点へと伸ばし、2 番手との差を 46 点差に拡大。残すは 3 戦、タイトル獲得に向けたシーズン終盤での戦いぶりにますますの期待が高まっている。